

エグゼクティブ・コーチングから経営革新に繋げる  
「組織コーチング」概説

2019年8月

フロネシス・インスティテュート株式会社

## 対象者個人へのコーチングを定期的実施する

- **対象：** 経営幹部やその候補者
- **場面：** 個々人が抱える重要課題を題材とし、コーチからの問いかけを契機とした対話を通じてその本質に迫ると共に、対話を一定期間継続することで「客観視」の習慣化を図る
- **効果：** 個人に対する教育効果に加えて、組織の枢要なポジションを担う対象者の意識・行動の変容そのものが、組織全体としての変革に直結する効果が期待できる

## 全員が集うワークショップの場を組み合わせる

- **対象：** コーチングの対象者全員（或いは、その上司・部下も交えて）
- **場面：** 対象者全員を知るコーチがファシリテータとなり、組織ビジョンから戦略課題の解決等を議論し、シナリオに統合していく（数時間から1泊2日など、自由に設定可能）
- **効果：** コーチングを通じて、対象者個々人が持つ考えを深く知るコーチが「つなぎ役」となることで、日頃の会議では望みにくい組織の全体最適を志向し、幹部が一丸となって戦略課題解決へのシナリオを構築していくことが期待できる

教育研修を超えた、経営革新に繋げる為の場が「**組織コーチング**」である

## • **A** 個人コーチング

– 対象者とコーチとの間で、定期的に行われる個人コーチングの場

※ 信頼関係を築きつつ、視点拡大に資する多面的な対話を通じて思考・行動変容を図る

## • **B** 戦略ワークショップ

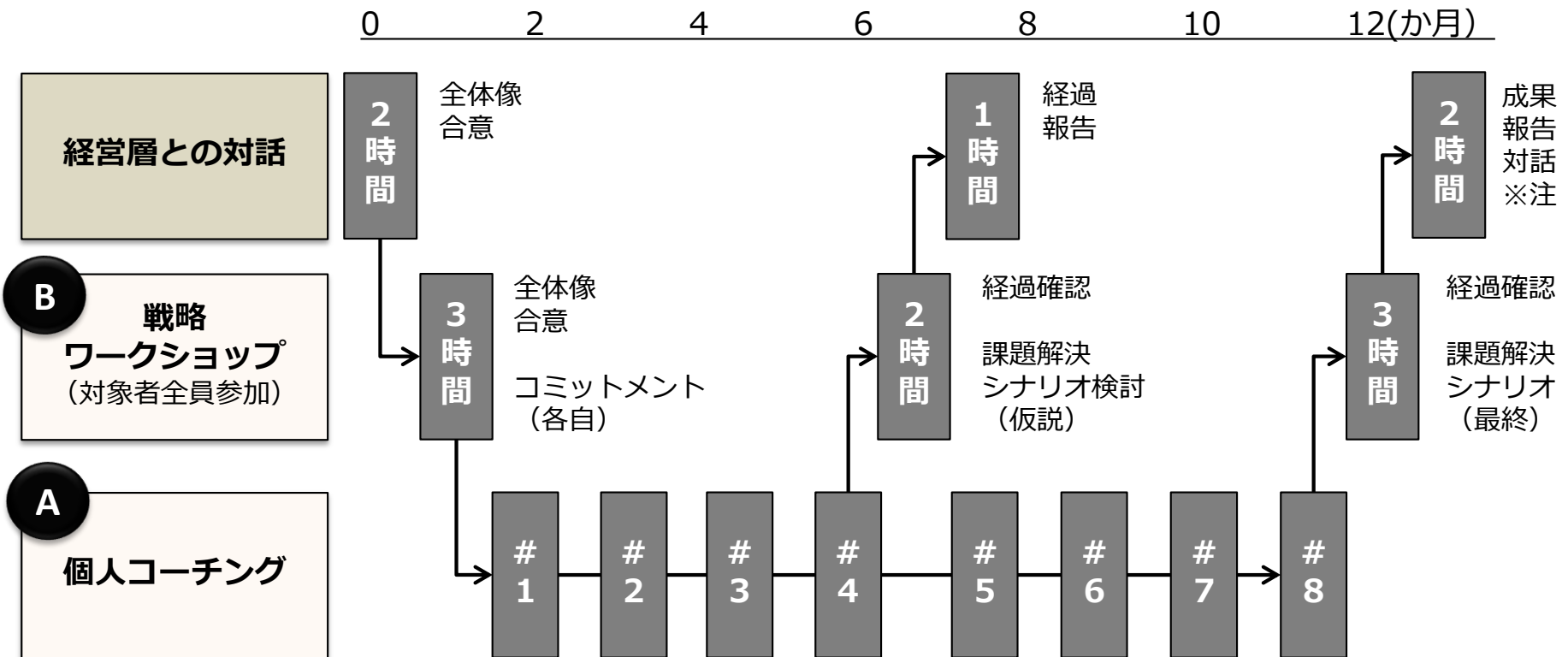
– 戦略課題解決を目指し、コーチング対象者全員の思いを一つに統合していく対話の場

※ コーチによるファシリテーションを通じて、皆が腹落ちするシナリオを共同で構築する

## • 「変革シナリオ」を題材とした経営層との対話

– 戦略課題解決のシナリオを題材に、コーチング対象者と経営層が近未来を語り合う場

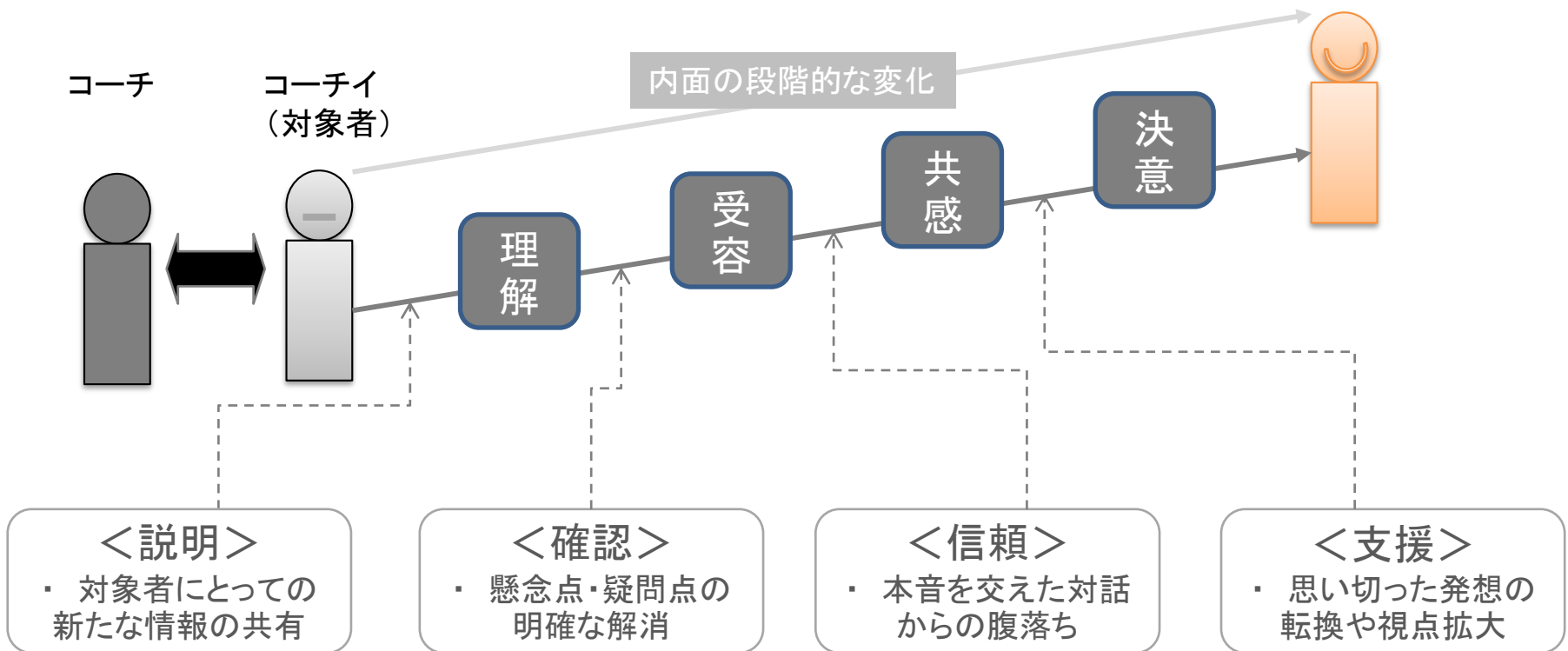
※ コーチによるファシリテーションを通じて、単なる経営提言の場を超えて、組織の未来を深く真摯に語り合う場を創造する



毎月) 50分間/1人 ⇒ MAX5名/1日、全体20名程を想定

※注 経営層との意識合わせ「最終回」は、対象者全員参加での開催も効果的

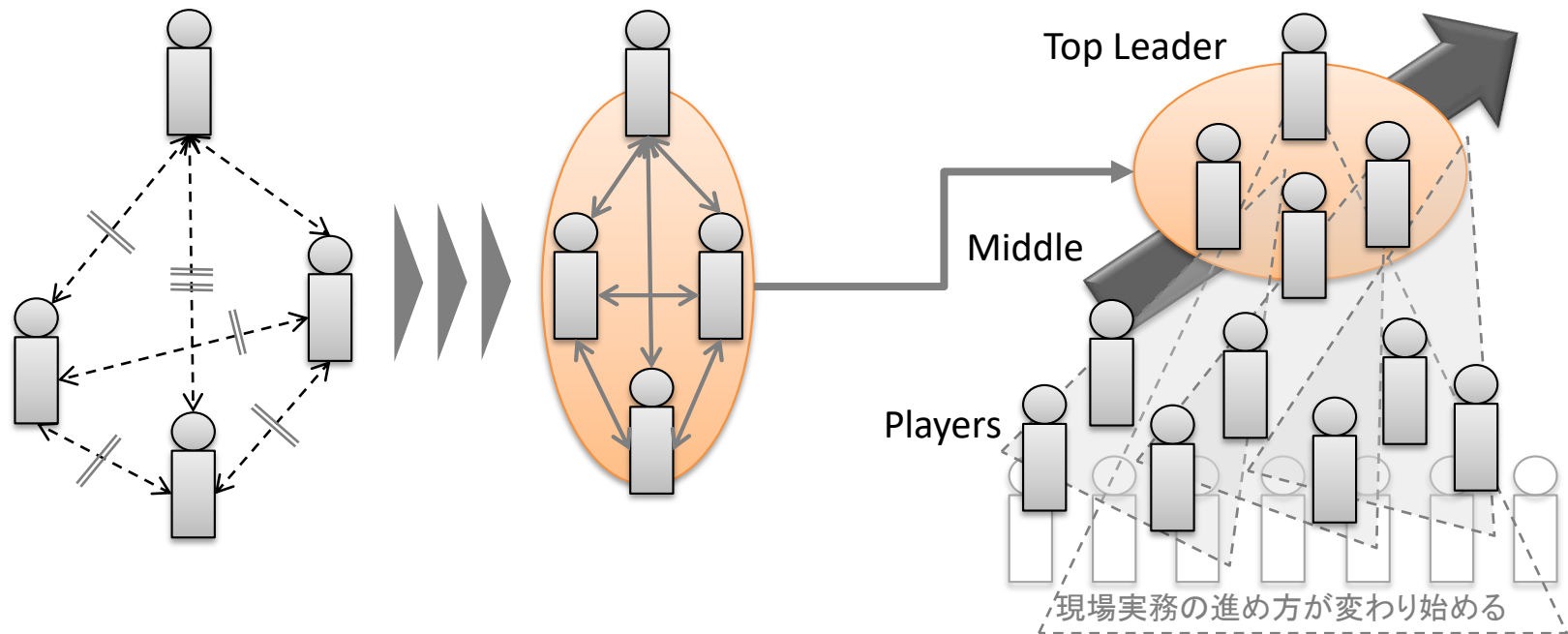
意識と行動の変容  
従来とは違う行動への勇気を喚起する



## 戦略ワークショップで目指すこと

通常の“会議”とは異なる空間で、戦略課題の解決を共同で体験することで、心理的な距離感を縮める

- 1 経営層と幹部層とが一体化し、“チーム”となる
- 2 戦略課題の解決をチームで検討・構築している
- 3 上記チームの動きを見て、現場が変わり始める



## ■ プロフィール 出馬幹也 / Mikiya Izuma

62年 三重県四日市市生れ、小中高と愛知県名古屋市で育つ  
86年 筑波大学(西洋倫理学)卒、94年、アジア経営大学院(MBA)修了  
86年 富士ゼロックス株式会社入社(幅広い職種・部門を経験)  
00年 富士ゼロックス総合教育研究所に移り、企業変革支援事業立ち上げ  
04年 同社プリンシパル(役員待遇)就任。政府系専門委員等に活動範囲拡大  
12年 経営コンサルタント&エグゼクティブ・コーチとして独立  
フロネシス・インスティテュート株式会社・代表取締役として現在に至る

早稲田大学マニフェスト研究所 人材マネジメント部会・部会長  
特定非営利活動法人 九州・アジア経営塾 KAIL・エグゼクティブ・ディレクター



## ■ 事務所概要 フロネシス・インスティテュート株式会社

- ・ 東京都千代田区紀尾井町3-29 グルックハイム紀尾井町5001  
※ 東京メトロ有楽町線麴町駅徒歩4分、半蔵門線永田町駅徒歩5分
- ・ 資本金 1000万円
- ・ 運営体制 社外パートナーコンサルタントとの連携協業による
- ・ 主要事業
  - ★ 組織変革コンサルティング、エグゼクティブ・コーチング
  - ★ 人材開発プログラム企画開発・提供
  - ★ 上記に関連する各種メディア・コンテンツ企画制作

